



第5学年 社会科学学習指導案

1 単元名 「これからの食料生産とわたしたち」

2 単元の目標

我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、地図帳等の各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習課題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にこれからの農業などの発展について考えようとする態度を養う。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。 調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。 食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業や水産業の発展について考え表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、これからの農業などの発展について考えようとしている。

4 単元について

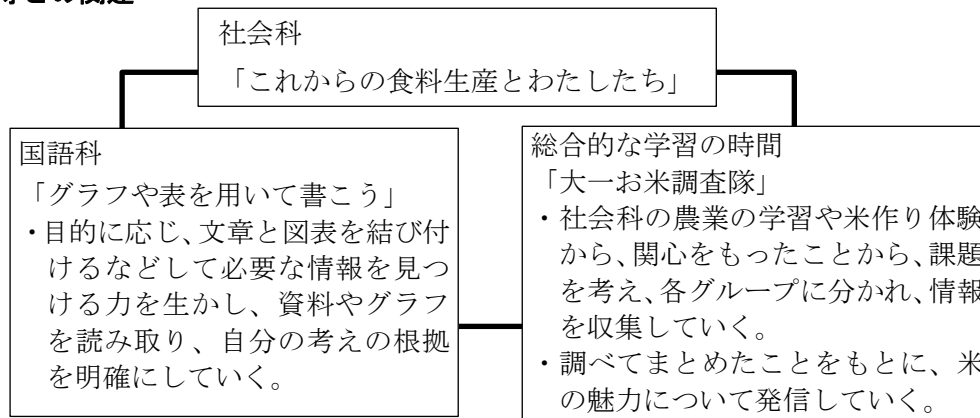
本単元では、我が国の食料生産について、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、これからの食料生産の発展について、自分の考えをまとめることを大切にしている。その中で、食生活の変化と食料生産の関係を捉えるために、「食品ロス」の問題を取り上げている。これは、多くの食料を輸入する一方で大量の「食品ロス」が発生していくことをつかませ、自分たちの食生活のあり方を考えさせるきっかけとすることをねらいとしている。

この学習を通して、総合的な学習の時間で集めた「お米」に関する情報や、国語科で学んだ「グラフと表を用いて書こう」の学習で身に付けたグラフや表を活用する力を扱い、これからも日本で食料生産を続け、食料を安定して確保するためにはどうすればよいのかを考えさせていきたい。

5 SDGsとの関連

- [関連目標②] 日本の食料自給率や、食料生産の課題を学び、学習したことを基に、持続可能な農業や水産業の発展について考え、表現することができる。
- [関連目標⑨] 食の安全・安心を確保するための取り組みについて知り、技術革新の拡大について理解することができる。
- [関連目標⑫] 持続可能な消費と生産を確保するために、食料自給率を上げることが大切であることを理解することができる。
- [関連目標⑰] これからの食料生産について、学んだことを生かして、自分たちにできることを主体的に考えて、表現しようとしている。

6 他教科等との関連



7 児童の実態

本学級の児童は食料生産の農業と漁業について学習している。また、米作りの体験もしており、自分たちが育てていた稲と農家の方が育てた稲の違いに驚き、その工夫等について興味を感じている児童も多い。総合的な学習で米をテーマにそれぞれ調べ学習をしていく中で、食料自給率や食の安全性など、ニュース等で知っている児童もいるが、自分たちの生活に置き換えて考えるというところまでは至っていない。そこで、学校給食の取り組みや家庭で買い物をするときの保護者の意識などを調査することで、食料生産の現状を知り、身近なこととして捉えられるようにしていく。



ESD アンケートでは、**⑤協力****⑥関連****⑦参加**の数値が高い。その一方で、**③多面**「自分の考えを整理し、根拠を持って伝えることができる」や**④伝達**「目的や見通しをもって計画を立てることができる」の数値が低い。

そこで、学習問題設定の時に出示された問いを中心に、自分で決めた課題について調べ活動を行わせていく。消費者や生産者、販売者など立場の違いから食生活の変化や食の安全性、環境との関わりなどを調べることで、食料生産の現状を捉えさせる。その後、それぞれが調べたことを報告し合い、食料生産の現状への理解を深めるとともに、これからの食料生産について考えさせていきたい。

8 研究に迫るための手だて

(1) 児童や授業者が「学びを評価」するための評価方法の手だて

ア 児童の学びを評価するために、ノートの記事等を活用していく。児童が自分の考えをまとめることができるよう、教科書等の資料をノートにも貼れるようにし、そこに気付いたことや疑問に感じたことなどを書き込めるように指導していく。

(2) 学びを深める学習活動の手だて

ア 学習問題をつかむ過程で、写真やグラフ等の資料を提示し、身の回りには外国産のものが多くあることに気付かせ、国産と外国産の割合を予想させながら、食料自給率の意味を理解させる。その際、日本と主な国の食料自給率のグラフから日本は他の国と比べると食料自給率が低いことに気付かせ、日本にはたくさんの食料が輸入されていることに気付かせる。

イ 社会的事象やその意味について根拠をもって考えられるように、個人で調べたり、考えたりする時間を確保する。その際、同じテーマで調べている児童同士で情報を交流する時間と異なるテーマで調べている児童同士が自分たちの考えを伝え合う時間を確保することで、これからの食料生産への考えを広げることができるようにする。

9 単元の指導計画と評価計画（全6時間）

時	目標	主な学習内容	評価
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率のグラフや表などに着目し、話し合うことを通して日本の食料生産の今日的な課題について問いを見出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業や水産業の学習を振り返りながら、日本や主な国の食料自給率について調べ、疑問に思うことを話し合い、学習問題を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率や輸入などに着目して問いを見出している。 【思-①】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいのだろうか。 </div>		
2	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題について予想を立て、食料生産の課題やこれからの食料生産をどのように進めたらよいかを調べる学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題を解決するために、どんな課題があるかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 予想される学習課題の項目 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○輸出入に関すること 日本の食料品は輸出していないのか。食料の多くを輸入に頼っている状況に問題があるのではないか。 ○農業、漁業に関すること 農業や漁業の生産が下がっていることが直接的な問題につながっているのではないか。 生産業の人を増やすにはどうすればよいか。 ○値段や質に関すること 日本と外国では価格の差や、食べ物の質に問題があるのではないか。 ○食生活に関すること 和食よりも洋食など、食生活の変化が起きてきたからではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの食料生産について、予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもっている。 【態度①】

3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> 第2時で決めた学習計画の項目ごとに、各グループに分かれて、自分のグループ内容に合わせた情報を収集することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた課題について調べ、課題ごとのグループで集まり、調べた内容を共有して、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活が変化してきたことや、それにもなった食料生産の課題について考え、表現している。 【思判表①】 必要な情報を集め、読み取り、食の安全・安心への取り組みについて理解している。 【知技①】 食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどに着目して問いを見出し、食料生産の課題について考え、表現している。 【知技①】
5	<ul style="list-style-type: none"> 食料生産について調べたことを話し合うことで、食料を安定して確保することが重要な課題であり、食料自給率を上げることが大切であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマごとに調べたことを話し合ったり、異なるテーマの相手と情報を交流することで、これからの食料生産への考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保や食料自給率を上げることが大切であることを理解している。 【知技②】
6	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題について、分かったことをまとめ、これからの食料生産について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> これからの食料生産に対する考えを文章でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことをもとに、これからの食料生産などの発展について考えようとしている。 【態度②】

10 本時（1／6時間）

(1) 本時の目標

食料自給率のグラフや表などに着目し、話し合うことを通して日本の食料生産の今日的な課題について問いを見出す。

(2) 展開

時間	○主な学習内容 ・ 予想される児童（生徒）の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準（評価方法）
導入 10分	<p>○ 農業と漁業の時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おいしい米を作るために品種改良をしていた。 ・ 漁業では、ポスターを使って働く人を増やそうを努力していた。 ・ 漁業も農業も働く人が減っていたり、高齢化したりしていた。 ・ 米の消費量が減ることで、生産量も減っていた。 ・ 漁業も生産量が減って輸入が増えていた。 <p>○ 天ぷらそばの材料の産地や主な食料の自給率を知ることで、日本の食料生産の現状を捉える。 (天ぷらそばの写真や産地から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そばや大豆は、日本で生産されているはず。 ・ えびや小麦は輸入していると聞いたことがある。 ・ 和食なのに日本の食材だけではできないのか。 ・ 天ぷらそばの材料のほとんどは輸入に頼ってるけど、他の食材はどうか。 (主な食料自給率のグラフから) ・ 米や野菜はほとんどが日本で作られている。 ・ 肉や果物は輸入に頼っている。 ・ 日本の食料生産はどうなるのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(本時のめあて) 日本の食料生産の課題について話し合い、学習問題を作ろう。</p> </div>	<p>◆これまでの学習で使用した資料なども提示し、既習事項を想起しやすようにする。</p> <p>◆課題だけでなく、生産業に携わる人々の工夫も想起させる。</p> <p>◆どちらも生産量が減っていたことに気付かせ、このままだと日本の食料生産がどうなるのかを予想させる。</p> <p>◆「食料自給率」という用語の意味を押さえた上で、天ぷらそばの材料の輸入先や自給率を提示し、他の食材への関心をもたせる。</p> <p>◆主な食料の自給率のグラフを見せ、多くの食料が輸入に頼っていることに気付かせる。</p>
展開 30分	<p>○ 日本と主な国の食料自給率のグラフから、日本の食料生産の課題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>グラフから気がついたこと</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本は他の国と比べて食料自給率がものすごく低い。 ・ 米や野菜は自給率が高かったのに、どうしてこんなに低いのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>教科書等の資料から考えられる理由や予想</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業も漁業も生産量が減っていたから、食料自給率が下がっているのではないか。 ・ 働いている人が減っているから、生産量が減ってしまったのではないか。 ・ 肉などは外国産のものが安いから、日本のものが売れないのでは。 ・ 農家の人一人あたりの耕地面積が食料自給率が高い国ほど広い。日本は、耕地面積が少ないから、たくさん作れないのかな。 ・ 耕地面積が少ないのは、働き手が少ないことが理由ではないか。 	<p>◆国名を隠すことで、食料自給率のグラフに興味をもたせ、なぜ日本の食料自給率が低いのかという疑問につなげていく。</p> <p>◆個人で、グラフから食料自給率が下がっている理由を予想させ、教科書や資料集で調べたことをもとに、ノートに自分の考えをまとめさせる。</p>

	<p>○ 食料自給率の話し合いをもとに、学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の食料生産は、輸入に頼りすぎている。 ・自給率が下がっているのはどうしてだろう。 ・もっと自給率が下がったらどうなるのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいのだろうか。</p> </div>	<p>◇発言や記述内容から、「食料自給率や輸入などに着目して、問いを見出しているか」を評価する。 【思-①】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ 5分</p>	<p>○ 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量を増やすためにはどんな工夫があるのか調べてみたい。 ・食生活の変化が食料自給率に影響を及ぼしているのか考えてみたい。 	<p>◆これから自分が調べてみたい課題について、ノートに記述させる。</p> <p>◆次時は学習課題を考え、学習計画を立てていくことを伝える。</p>